

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない時や急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。普段からの外遊びで体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

《町の健診・相談予定》

お子さんにとって大事な健診や相談です。
ご都合をつけて参加してください。

2歳児相談 7月3日(水)

R4年4月・5月・6月生9:00~9:30

2歳6か月児相談 7月17日(水)

R3年11月・12月生9:00~9:30

3歳児健診 7月10日(水)

R3年5月・6月生13:00~(個別にご案内)

☆保健福祉センター2階の健診室で行われます。
森町こども保健ガイドにて内容、持ち物等
確認してお出かけ下さい。

〈熱中症の危険があるとき〉

- 気温が高い…皮膚から熱放出されにくくなります。
- 湿度が高い…汗が蒸発しにくくなります。
- 水分不足…体内の循環が悪くなって熱を放出しにくくなります。
- 急に暑くなった…体が暑さに慣れていないため、熱の放出がうまくいきません。

熱中症を防ぐポイント

- ① 気温や注意報をよく見る。
- ② 水分補給は前もって
- ③ 暑さに体を慣らそう
- ④ 無理をしない

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

水あそび、プールあそびの対応の変更について

水あそび、プールあそびが始まって1ヶ月が経ちます。暑い日が続き、泥んこ、水、プールあそびは大盛況。気持ちよさそうに楽しむ子どもたちの姿が見られています。そうした中で、絆創膏が剥がれている、貼ってあることに途中で気づいたりする場面がありました。

子どもたちの安全、又は体調を考えて一部、対応を変更させていただきます。

《**変更事項**》※下記の場合は泥んこ、水、プール遊びは出来ないことになります。

- ◎ 気管支拡張薬（ホクナリンテープ）、絆創膏、ムヒパッチ等体に貼ってある場合
- ◎ 傷口に出血、化膿が見られる場合

※傷口や水いぼの状態により、こちらで判断し泥んこ、水、プールあそびを控えさせていただく場合があることをご承知ください。

《水イボについて》

基本、部位をラッシュガードを着用するなどして覆っていれば、泥んこ、水、プールあそび出来ます。但し、水いぼが潰れている、化膿している場合は、覆っていても出来ません。



《とびひについて》

皮膚をかきむしって傷ができたところに、細菌が感染して、ジクジクした湿疹(とびひ)ができます。とびひは感染力が強いうえに、ひどくかゆいため、かいた手で体のほかの部分に触ると、そこにも湿疹が広がります。早めに、皮膚科を受診しましょう。泥んこ、水、プールあそびは出来ません。

《お願い》

気管支拡張薬（ホクナリンテープ）、絆創膏、ムヒパッチ等体に貼ってある場合は、必ず担任、又は職員に伝えて下さい。お子様が自分で貼ってしまうこともありますので、確認してください。

《こんな時は水遊び、プール遊びはできません》

- ◆下痢をしている
- ◆目やに、充血（白眼が赤い）がある
- ◆体温が37.5度以上ある
- ◆咳をしている
- ◆とびひなど感染する皮膚疾患がある
- ◆鼻水がひどい
- ◆傷がある（絆創膏を貼っている）
- ◆食欲低下、元気がない
- ◆目、鼻、耳に病気がある（医師の許可があれば可）
- ◆治療薬を飲んでいる（貼り薬ホクナリンも含む）
- ◆チェック表に記入がない



みずあそびのおやくそく



お子さんの健康状態を把握し、不調や外傷のある場合は症状に応じ早めの対応（受診）をお願いいたします。（早期対応（受診）により軽度で済むケースが多いです。拗らせない為にも早めに！）